

令和元年度の町の

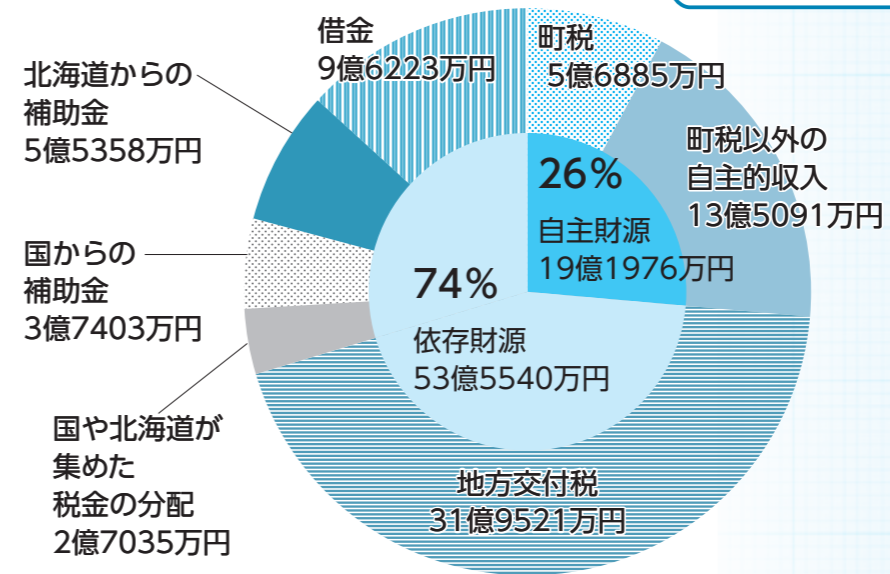
決算

町では毎年、予算の執行状況や決算について公表し、皆さんが納めた税金がどのように使われているのかをお伝えしています。ここでは、町の令和元年度決算の概要をお知らせします。

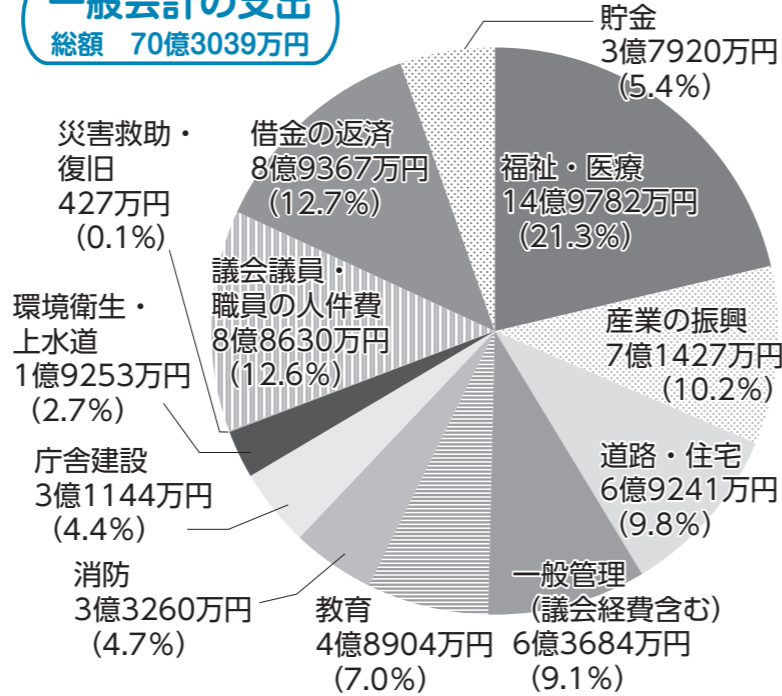
■収支
一般会計の収入は、72億7516万円、支出は70億3039万円で、差し引き2億4477万円の黒字決算となりました。

■収入
町税と町税以外の自主的収入（施設利用料など）を合わせて「自主財源」と呼びます。自主財源の割合は26%で、残りの74%は国や北海道から受ける「依存財源」に頼っています。
しかし、依存財源の大部分を占める地方交付税は、町が自由に使える財源ですので、「自主財源の割合が低い」財政状況が厳しい」ということではありません。

一般会計の収入
総額 72億7516万円



一般会計の支出
総額 70億3039万円



■支出
令和元年度の支出で一番多かった経費は、医療費助成や保育園の運営費などが含まれる福祉・医療の14億9782万円で全体の21.3%でした。
続いて多かった経費は順に、借金の返済、議会議員・職員の人件費、産業の振興でした。
また、令和元年度から本格的に始まった庁舎建設は、3億1144万円で全体の4.4%でした。

令和元年度主なまちづくり事業

福祉・医療	
保育園の増築改修	2億8185万円
子ども医療費助成	2101万円
すまいるあっぴ事業	1156万円
インフルエンザ予防接種の助成	664万円
産業の振興	
商工会への支援	3051万円
観光PRの推進	843万円
スマート農業の推進	540万円
道路・住宅	
冬期除排雪	1億977万円
住宅リフォーム助成	2105万円
歩道の防犯灯整備	582万円
一般管理（議会経費含む）	
定住促進助成	5010万円
行政区活動支援	1384万円
誕生記念品の贈呈	92万円
教育	
スポーツセンター照明のLED化	3769万円
スクールバス更新	1726万円
消防	
防災無線の更新準備	1億1179万円
防災力の強化	1541万円

※次のページも併せてご覧ください

財政指標

	早期健全化基準※	新十津川町の比率	説明
実質赤字比率 一般会計の赤字の割合	15%	-	赤字はありません
連結実質赤字比率 全会計通算の赤字の割合	20%	-	赤字はありません
実質公債費比率 年間の借金返済額の割合	25%	-0.4%	健全な水準です
将来負担比率 将来の負担になる借金の割合	350%	-	借金残高を償還財源が上回ります
資金不足比率 下水道と農業集落排水事業の赤字の割合	20%	-	赤字はありません

※この数字を上回ると、財政健全化の取り組みが必要になります。

■借金
借金残高は平成30年度と比べ、2千万円減っています。貯金残高は増え、借金残高は減っており、財政状況は安定しているといえます。

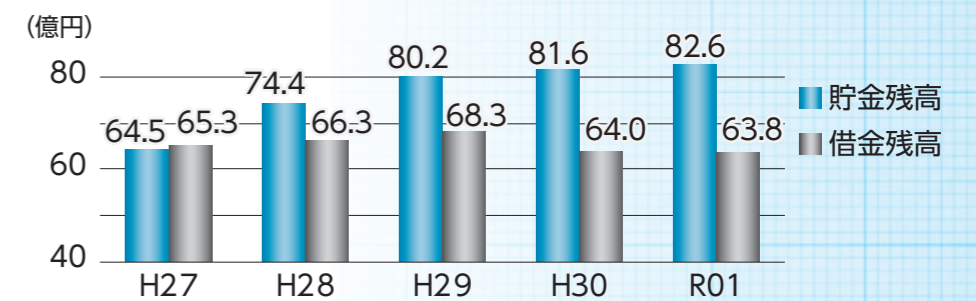
■財政指標
健全化判断比率と資金不足比率は、まちの財政状況が悪くなっていないかを確認するための指標で、法律によって公表することが義務付けられています。
新十津川町は、すべての会

計で赤字はありません。また、将来支払わなければならない借金も、無理なく返済できる金額となっています。

■公会計制度
国が示した基準に基づいて財務書類を作成しました。ホームページで公表していますので、併せてご覧ください。
URL
<http://www.town.shintotsukawa.lg.jp/otnews/detail/00003021.html>



過去5年間の貯金と借金



各会計の決算額

会計	収入	支出	差引
一般会計	72億7516万円	70億3039万円	2億4477万円
特別会計	国民健康保険	2億9746万円	328万円
	後期高齢者医療	1億1167万円	1万円
	下水道事業	1億7796万円	0円
	農業集落排水事業	3130万円	0円
合計	78億9684万円	76億4878万円	2億4806万円